

◆ 5 番（白石資隆議員） この農業集落排水処理事業特別会計の補正予算について、反対の立場で意見を述べさせていただきます。

石川議員が述べたように、私も基本的な考えが農業集落排水事業から合併浄化槽に転換すべきだという考えであります。理由として、費用対効果の問題、また将来を見渡すと日本全体の人口が減少するのは間違いないので、農業集落排水事業は今もよくても将来に財政的負担を押しつけることは目に見えているからであります。

そして、今回の補正予算 2,094 万 9,000 円ですが、一般会計から繰り入れしなければならない大きな原因の一つとして、昨年からの繰越金が 1,041 万 4,000 円も減額していることにあります。この繰越金減額の一つの大きな原因は、昨年度の使用料の未納が多いからであります。昨年度決算で未納金は 614 万 8,820 円、回収不能な不納欠損金 51 万 2,440 円、その後担当職員が訪問し、約 99 万円回収したとさきの委員会で聞きました。それを含めても 500 万円以上は未納であります。私が農業集落排水事業に対する未納が納得できないのは、この事業が地域住民が市に要望して行った事業だからであります。一般的な税金や公共下水道のように、市民の許可を得ずに市が一方的に始めた事業とは違います。市に要望して、1 件当たり約 500 万円もするような多額の税金を投入して事業を行って、1 割の人が使用料を未納にするというのは、理由はどうあれ、道徳心から考えても非常におかしいと思います。また、市当局は、今まで市民に対し、農業集落排水事業だけを広め、合併浄化槽との比較というものを周知しておりません。ですので、地域住民が農業集落排水事業を要望するのであって、この責任は市当局にあります。

また、今回の補正の歳出である管理費用 944 万 5,000 円ですが、補正を組まずに行うための代替案を述べさせていただきます。執行部のほうで検討してください。まず、一般管理費のうち、職員が使用料の徴収業務などで使う職員給与、職員手当等共済費を足すと 648 万 4,442 円あります。このうちの徴収業務などは民間でもできますので、民間に委託すれば 100 万円単位で支出を抑えられるのではないのでしょうか。この差額分に、先ほど述べた未納分を足せば相当な金額になります。また、今回のように補正を組んでまで管理費を一般会計から繰り入れしなければならない原因として、使用料と管理費の構造的な問題があると思います。全体の管理費用が昨年度決算で年間 1 億 1,533 万 2,065 円に対し、使用料徴収額は 6,731 万 4,440 円しかなく、差額 801 万 7,625 円が赤字となっております。ですので、使用料自体を見直さないと、また今後も同じ問題が出ると思います。小山市の下水道料金、農業集落排水の料金は、全国平均と比べ随分安いです。一方、上水道料金は高いと言われます。上水道、下水道、農業集落排水は、それぞれ別の特別会計となっておりますので、本来は各会計ごとに収支を調整する必要があります。そこで、例えば毎年赤字が莫大にふえ、借金をふやしている下水道、農業集落排水の料金を上げて、逆に利益が出るようになった上水道の料金を下げるといったことも検討すべきだと私は思います。以上のことを行えば、今回のような補正を組まなくても済みます。

よって、私はこの農業集落排水事業の補正予算に反対いたします。

◆ 5 番（白石資隆議員） 議案第 115 号 両毛線思川駅自由通路新設工事業務委託協定の締結について、反対の立場で意見を述べさせていただきます。

この思川駅自由通路に関しては、さきの 9 月議会にて 1 億 4,800 万円の補正予算が組まれ、10 人の議員が反対し、私もその際に反対をいたしましたので、当然のことながらこの工事の委託協定にも反対であります。反対の理由はたくさんあります。1 つは、思川駅は、利用者が 1 日にたった 660 人、しかもそのほとんどが小山西高の学生であります。そのような駅に 4 億 4,800 万円もの巨額の金をかけることは、私は大いに疑問であります。この事業のために小山市民、赤ちゃんも含めて 1 人当たり約 3,000 円、1 世帯当たりになると約 1 万円も負担することになります。市民にそれだけの金を負担させるべき事業であ

るとはとも思えません。

また、9月議会にて当初予算3億円から補正予算1億4,800万円が追加された理由も、原油高による鋼材価格の高騰、軟弱地盤補強といった理由でありました。しかし、既に原油は大幅に値下がりし、鋼材価格も大幅に下がっております。さきの補正で鋼材価格の高騰を理由に大きく増額した分と、鋼材価格の大幅値下げにより生まれる巨額の利益はどうかになるのでしょうか。契約先のJR東日本から、鋼材価格の値下がり分を小山市に返還してもらい文書化した正式な確約をとるまで契約を凍結すべきではないのですか。こんな不備だらけの契約は、私は到底認められません。また、軟弱地盤などは当初の設計時点でわかっていたはずで、設計時の単なる怠慢であり、補正の理由になどなりません。ですので、補正で1億4,800万円も追加した理由も当然認められるものではありません。

また、そもそもこの事業は、地元の要望から始まった事業ですが、本当に地元の人がこんな多額の金かけてまで欲しいのかも疑問であります。地元の人たちも、この事業で4億4,800万円もの多額の金がかかるなんて夢にも思っていないのでしょうか。地元の人たちにこの金額を教えたならばびっくりして考え直すのではないのでしょうか。こんな多額の金を費やすのではなく、思川駅の東西100メートル以内にある踏切を拡幅または歩道をつけたほうが、車社会である地元の人たちにとっても利便性が高いのではないのでしょうか。

ここで、思川駅を南北に結ぶ自由通路事業に対する私の代替案を提案させていただきます。議長の許可をいただきましたので、パネルを使わせていただきます。

〔「パネルなんか要らないんだよ、そんなの」と呼ぶ者あり〕

◆ 5番（白石資隆議員） 許可いただきました。これは、三重県鈴鹿市の鈴鹿駅です。

◆ 5番（白石資隆議員） これは三重県鈴鹿駅です。利用者は3,200人います。これと思川駅をちょっと比べてみてください。ここにホーム2つあります。そして、改札は1つです。これは思川と同じです。そこで、鈴鹿駅は改札内に踏切を置き、この下を歩くだけです。これ利用者は3,200人です。これに比べて思川駅は660人しか使わないのに、この上に4億4,800万円もかけて、多額の金をかけて通路をつくるわけです。660人で4億4,800万円。ちなみに、この鈴鹿駅のこの踏切だけですと、多分二、三千万円もあればできるでしょう。こんなことは、あちこちの地域のことを見れば容易にわかることです。

私は、この事業に対して、思川駅に何度も行き、利用状況も自分の目で確かめましたし、近隣の人たちにも意見を聞きました。いろいろ調べて代替案も考え、今回こうして反対討論をしておりますが、この事業に賛成の議員の方は、現地の状況、または他の市町村の状況をどれだけ調査したのでしょうか。全然調べもせず、執行部提案にただ賛成している方が多いのではないのでしょうか。賛成するならば、この思川駅に4億4,800万円もかけるべき理由をこの場できちんと主張していただきたい。私は、議員になって1年半がたちましたが、いまだに議会で一円の無駄さえ削減していない、この議会のあり方に疑問で仕方ありません。市民の血税である税金をどう認識しているのでしょうか。今は物すごい不景気であり、市民生活も困窮しております。また、今後も少子高齢化により極度に財政が悪化することが目に見えておりますので、徹底して無駄を省き、将来に備えねばなりません。それを考えれば、この思川駅自由通路事業のように、生活に直接支障がない、あったら一部の人が便利といったレベルの事業は、今やるべきことではありません。予算の使い方が間違えていると思います。

よって、私はこの事業に反対いたします。